

2020,11月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和2年11月2日

Nhân hậu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく

ニャンハオ

かしこく

トゥオンミン

たくましく

ホエエマイン

本文はユニバーサルデザイン
の書体を利用します。

有終之美 ~勝利をつかめ~

明石 清二

今年の運動会は白組が優勝しました。応援賞は赤組です。

いわゆる「ぶっつけ本番一本勝負」の運動会でしたが、その分、子供たちには勢いが感じられ本気で活動していたのが印象的でした。子供たちも十分に楽しむ姿が見られました。

小学部1,2年生の「以心伝心」は、各自手袋を小道具に使い全員が楽しそうに踊っていました。1年生は、春先の運動会では見られないたくましさも感じられました。この6か月間の成長は、目を見張るものがあります。

小学部3,4年生の「ハノイソーラン」は、荒海に生きる漁師ならではの動きや力強さがよく伝わってきました。背中に背負った文字には、一人一人深い思い入れがあったことと思います。

小学部5,6年生の「集団フラッグ演技」は、正に圧巻の演技でした。風にたなびく旗を巧みに操り、計算され尽くした動きにマスゲームの醍醐味を感じました。旗を振り切る音も聞き取ることができ、子供たちの一生懸命さは風さえも味方に付けました。

中学部の「紅白対抗全員リレー」は、大変盛り上がりました。負けてなるものぞ、本気で勝負をする姿に頼もしさを感じました。中学生が全員でつないだのは、単なるバトンではなく一人一人の「心」だったのではないかと感じています。

「NIJI60」は、体全体で表現するとともに、難しいステップにも果敢に挑戦しました。表現内容を自分たちで工夫し、自分たちで練習を成し遂げたことに大きな価値があります。

中学部3年生にとりましては、見事、有終之美を飾るとともに、思い出に残る運動会であったと確信しています。

勝利をつかんだのは赤組でも白組でもなく、児童生徒全員が勝利をつかんだ一日とを考えます。努力を継続する者に、勝利の女神は絶対にほほえみます。本校の底力を感じた一日でした。



私に女神がほほえまないのは、もっともっと精進しなさいということ
なのでしょう。精進します!

サロン・ド・Koutyoushitu

休み時間には、校長室に来て遊んでいく子供たちがいます(正確には私が遊んでもらっているのかもしれませんが)。保護者の皆様、御来校の折にはどうぞ校長室にお立ち寄りください。皆さんでお茶飲みをしましょう。コロナ禍におけるいろいろなアイデアが生まれるかもしれません。お待ちしております。心から!